

ENJOY ROTARY

ROTARY

CLUB

Fukushima Chuo

◆ 福島中央ロータリークラブ ◆
since 1990

2025年9月24日(水)

第10回(通算1637回) エフズサンパレス
「ガバナー補佐訪問例会・ホームミーティング」

よいことのために手を取りあおう

Rotary
福島中央RC

福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市曾根田町4-22

TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212

E-mail:info@fukushimachuo-rc.com



HP

例会次第

- ◆開会点鐘 鈴木 努会長
- ◆ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 坂本 和司会員
- ◆「ロータリーの目的」の唱和
奉仕プロジェクト委員会 鍛冶 輝雄委員
- ◆お客様並びに来訪ロータリアンの紹介
・国際ロータリー第 2530地区2025-26年度
相良 元章 県北第一分区ガバナー補佐
岩見 孝之 県北第一分区区幹事
- ◆ガバナー補佐あいさつ
- ◆ロータリー財団よりPHF認証状と襟ピンの贈呈
- ◆RLIパートⅠ修了証授与
- ◆会長あいさつ 鈴木 努会長
- ◆ロータリー用語の解説
山田 稔クラブ研修委員長
- ◆幹事報告 菅野 幸一幹事
- ◆各委員会報告
 - ・ニコニコBOX委員会報告 川瀬 哲雄委員長
 - ・R財団・米山委員会より 渡邊 英世委員長
 - ・公共イメージ向上セミナー報告 斎藤 高紀委員長
 - ・社会国際奉仕委員会セミナー報告 鍛冶 輝雄委員長
 - ・定款と細則の変更について 穴戸 宏行委員長
 - ・会員増強について 植木 博隆委員長
 - ・猪苗代水草清掃中止について 奉仕プロジェクト委員会 丹野 良一委員長
 - ・親睦委員会より 坂本 和司委員長
- ◆閉会点鐘 鈴木 努会長

《ホームミーティング》

司会:親睦活動委員会 坂本 和司委員長

- ◇「福島中央ロータリークラブの歌」
ソングリーダー 今野 朗会員
- ◇開会の言葉 丹野 良一会長エレクト
- ◇会長あいさつ 鈴木 努会長
- ◇乾杯 佐藤 信雄直前会長
- ◇アトラクション クイズ大会
- ◇手に手つないで ソングリーダー 今野 朗会員
- ◇閉会の言葉 穴戸 宏行副会長

会長あいさつ

2025-26年度会長 鈴木 努



こんばんは。今回は午後5時から相良元章ガバナー補佐と岩見孝之分区幹事にご出席いただきまして、理事会を開催いたしました。そして相良ガバナー補佐訪問例会となっております。日頃の活動内容、例会の内容についてアドバイス等ありましたら、ご挨拶の中で、お話いただけたら幸いです。

相良ガバナー補佐が、会長・幹事会で、よくお話しされていたのが、例会の会長挨拶の内容と100%出席例会の開催、他クラブとの合同例会等と記憶しております。理事会でもお話していましたが、何とか70%出席例会を日常事として行きたいと理事会内でも相談しております。他クラブとの合同例会も、10月には福島ロータリークラブ、2月には福島西ロータリークラブと開催予定です。

私の会長挨拶は、今クラブ内、地区内で実行されている内容を常に説明し、一緒に活動、行動をしていきたいと思いますというのが、主な主旨です。相良ガバナー補佐いかがでしょうか？

さて9月10日例会終了後、南福島コアラ学童クラブに、昔懐かしいけん玉、こま、縄跳び等を贈らせていただきました。小林青少年奉仕委員長はじめ、委員会及び会員の皆様には、多数参加していただき感謝申し上げます。やっとクラブ内奉仕活動ができました。引き続き、10月8日にはまごころ学童クラブ移動例会、11月には愛育園移動例会、靴等の贈呈式と活動が続きますが、多くの会員の参加をいただきたいと思います。

今までは、会長として、地区内の活動に重きを置き、行動してまいりました。今度はクラブ内の活動を重視し、各委員会と相談しながら頑張っていきたいと思えます。

また、先週はクラブ管理委員会及び親睦活動委員会を開いていただきありがとうございます。主に、夜間のホームミーティングの楽しみ方、クリスマス会の内容についての討議だったと思いますが、委員会報告で、詳しくお話しいただきたいと思えます。他の委員会も合同で委員会の枠を超えて開催していただきたいと思います。

それでは今日も、楽しい例会及びホームミーティングになることを願います。

「エンジョイ ロータリー」

ありがとうございました。以上です。



コアラ学童クラブより感謝状





「ガバナー補佐訪問例会」



ガバナー補佐あいさつ

相良 元章

県北第一分区ガバナー補佐

皆さま、こんばんは。

今年度、県北第一分区のガバナー補佐を務めております、福島RC相良元章です。福島中央ロータリークラブの皆さまに、こうしてご挨拶の機会をいただけたこと、大変光栄に存じます。

本日はこの例会に先立ち、理事会に公式訪問させていただきました。

御クラブの理事会は議事の進行のスムーズさなど大変参考になりました。

理事の皆様ありがとうございました。

さて、今年度県北第一分区では「例会の力をもう一度見つめ直したい」という想いで「例会ルネサンス」を進めております。

鈴木会長にも、形式や方法にとらわれず、柔軟な発想で、一人ひとりが誇りと喜びを持って参加できる例会を会員様と一緒に創ってほしいとお願いしております。

私は先週9月20日土曜日に、RLIファシリテーター研修会に参加してまいりました。

その時の講師であった2620地区甲府RCの高野孫左衛門さんは、甲府クラブの例会はマンネリ化していてつまらないとおっしゃっていました。

高野さんほどの高名な方でもそんなふうに思うのかといささか驚きましたが、これまで積み重ねてきたロータリーの精神と伝統をしっかりと継承しながら、今の時代にふさわしい形で、例会をもう一度“息づかせる”ことの重要性を改めて感じました。

ぜひ皆さんと一緒に「例会ルネサンス」を始め、クラブの活性化を前進させましょう。

本日はよろしくお願いいたします。



県北第一分区
相良 元章ガバナー補佐



県北第一分区
岩見 孝之分区幹事



相良ガバナー補佐からロータリー財団PHF認証状と襟ピンを受ける今野会員、鈴木会長、鍛冶会員



ソングリーダー
坂本 和司会員



ロータリーの
目的唱和
鍛冶 輝雄会員



委員会報告
渡邊 英世R財団・
米山委員長



委員会報告
植木 博隆
会員増強委員長



定款・細則の変更
穴戸 宏行クラブ
管理委員長



委員会報告
丹野 良一
奉仕P委員長

親睦委員会報告

坂本 和司親睦委員長



9月17日に委員会を開催しましたので、主な内容を報告します。

- 1) 委員会の構成メンバーを再度確認し、自ら活動に参加するよう要請する。
- 2) この後の大きな行事として12月の年忘れ家族会、5月の創立記念例会を成功させる。
- 3) 他の夜間例会も何らかの余興をやるように会長より要請あり。予算も付けるので実行する。
- 4) 移動例会は夜に限らず、会員の事務所でやる案も出る。

「ホームミーティング」



HM司会の
坂本 和司
親睦委員長



HM開会の言葉
丹野 良一
会長エレクト



HMで挨拶する
鈴木 努会長



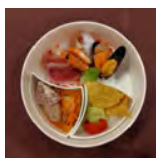
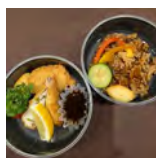
HMで乾杯する
佐藤 信雄
直前会長



HM
ソングリーダー
今野 朗会員



HM閉会の言葉
穴戸 宏行
副会長



アトラクションの景品の権利を決めるじゃんけん





公共イメージ向上セミナー報告

齋藤 高紀公共イメージ委員会委員長

日時：2025年9月6日(土)

2025-26年度地区公共イメージ向上セミナーは、去る9月6日、郡山ユラックス熱海で開催され参加してきましたのでご報告します。

セミナーは、第1部は講演会、第2部がパネルディスカッションの2部構成でした。

第1部最初の講演者は、第1地域公共イメージコーディネーター補佐の石黒秀治バスターで、「公共イメージ向上(認知向上)から増強の足掛かりへ ～陽徳・陰徳の両輪を大きく回そう!!」とのテーマで話されました。

RCは、「素晴らしく、楽しい!」ことを伝えようとして、次の3項目について話されました。

- 1) ブランドに息吹を与える第一歩として、力強いメッセージの作成とロゴの正しい使い方について説明がありました。まだまだロゴの間違った使い方がなされているとの指摘もありました。
- 2) 最近行われた公共イメージ向上アンケートから、RCの認知度が極めて低いことなどが指摘されました。
- 3) 最後に公共イメージ向上における陽徳とは、RCに入っただけで本当に良かったと感じることを自分の言葉で熱く積極的に語ることであり、ロータリーの公式バッヂを付けて、自己成長の意識を持って例会に参加することこそが陰徳と言えると結びました。

次に、同じく第1地域公共イメージコーディネーター補佐の五十幡和彦バスター(2570地区)が登壇され、「公共イメージ

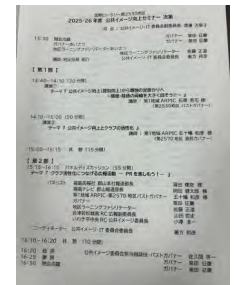
向上とクラブ活性化」と題しての講演がありました。2570地区内に於ける具体的な公共イメージ向上活動の紹介がありました。新聞掲載事例の紹介、掲載に至るまでのスケジュール、地区公共イメージフォーラムの開催など具体的な発表でした。その上で、プレスリリースの大切さ、なぜ公共イメージ向上が必要なのか詳細に説明がありました。今後の活動に生かしていきたいと思います。

第2部は、地区公共イメージ委員会委員長がコーディネーターとなり、別紙セミナー次第に記載の報道関係者2名、ロータリアン5名のパネリストによるパネルディスカッションでした。「クラブ活性化につながる広報活動-PRを楽しもう!」のテーマでディスカッションが行われましたが、幅広い意見と活動内容が聞け、今後参考にして行こうと思います。

今回セミナーに参加して、RC活動における公共イメージ向上がなかなか困難な活動であることが十分理解できました。



パネルディスカッション



次第



社会・国際奉仕委員会セミナー報告

鍛冶 輝雄社会・国際奉仕委員長

日時：2025年9月13日(土)

2025年9月13日(土)郡山ユラックス熱海に於いて開催された合同セミナーに参加してきました。

泉田 征憲バスターの開会点鐘と挨拶でセミナーが開始されました。

今回は、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会及びロータリー財団委員会の合同開催になった旨の報告がなされました。

第1部 社会・国際奉仕委員会セミナー

『セブの貧困層から未来のリーダーを育てる』との講演がありました。講師は、国際NPO DAREDEMO HERO理事長 内山順子氏です。彼女は、福島県矢吹の出身で、精神福祉ソーシャルワーカーをしていたとのこと。ご自身の人生目標に疑問を感じる中、フィリピンのセブ島に渡り永住を決意された由。

NPO&彼女の目標は、単なる経済支援ではなく、社会に変化をもたらす活動にあるとのこと。

1. 貧困層の中から、未来の指導者となる若者を発掘し、自立できるまで援助する。
2. これら若者の姿を身近な目標とする次の世代の支援をする。
3. この活動の循環の中から、貧困社会にも必ず変化が起

こり、貧困から脱却できる。

これまでの活動の結果、学校の教師や美容師や様々な職を得て自立できた若者が出てきているとのこと。単なる経済的支援ではなく、人づくり支援の理念に感銘を受けました。

ホームページも支援金で作っているとのこと、皆さんも一度訪問してみてください。

第2部 ロータリー財団委員会セミナー補助金管理セミナー

郭委員長から下記テーマで報告・説明がありました。当クラブから、グローバル補助金委員長として穴戸宏行会員が出席しました。詳細については、別の機会に、穴戸会員から説明があると思います。

1. ロータリー財団について・資金報告
2. 地区補助金の概要と授与と受諾の条件について
3. 寄付と認証、END POLIO 今年度活動について
4. MOUの説明及び資金管理について
5. グローバル補助金について

ロータリー用語の解説

クラブ内研修用スピーチ(第9回)
ロータリーにおける『奉仕』とは

山田 稔SAA

本日は、『奉仕』という言葉について、特にロータリーにおける意味と、一般的な奉仕との違いについてご説明いたします。

まず、一般的に『奉仕』というと、無償で何かを人のためにする行為、つまりボランティア活動のような意味合いが強いと思います。たとえば、地域の清掃活動や募金活動などがよく知られた例ですね。

一方、ロータリーにおける『奉仕』は、それよりももう少し広く、そして深い意味を持っています。

ロータリーでは『超我の奉仕(Service Above Self)』という理念が掲げられており、これは『自分のことより他人の幸せを優先する』という精神を示しています。

特徴的なのは、単に手伝うとか、労働力を提供するということではなく、『自分の職業や経験、人脈を生かして、社会に役立つこと

をする』という点です。

つまり、ロータリーにおける奉仕とは、“誰かのために、プロとして、真剣に力を尽くすこと”とも言えます。

また、奉仕は単発のイベントではなく、継続的・組織的に行われるのが特徴です。職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕という5つの分類があり、それぞれが補完し合いながら、より良い社会づくりを目指しています。

たとえば、医師であれば無料健診を、弁護士であれば法律相談を、建設業なら災害時の復旧支援など、“専門性を活かした支援”こそが、ロータリアンならではの奉仕なのです。

このように、ロータリーの奉仕は、単なる善意の活動ではなく、信頼・責任・専門性を土台にした『社会的な役割の実践』でもあります。

以上、ロータリーにおける奉仕の意味と、一般的な奉仕との違いについてのご説明でした。



幹事報告

菅野 幸一幹事



- 1) 9月28日(日)9:00～ユラックス熱海にて「RLI第8期パートⅡ」が開催されます。当クラブからは、丹野 良一会長エレクトが出席の予定です。
- 2) 同じく9月28日(日)9:30～福島市まちなか広場にて「第5回スポGOMI大会inふくしま」が開催されます。当クラブとRACあわせて8名が参加の予定です。

本日の出席率

会員数	41名
出席者総数	22名
うち出席免除会員出席	2/4名
出席率	56.4%

ニコニコBOX委員会報告

川瀬 哲雄委員長

■鈴木 努会長
相良ガバナー補佐、岩見分区幹事
ご出席ありがとうございます

安藤 正道会員
石橋 真一会員
植木 博隆会員
梅津 寿光会員
鍛冶 輝雄会員
川瀬 哲雄会員
菅野 幸一幹事
今野 朗会員

紺野 信会員
斎藤 高紀会員
斎藤 達也会員
坂本 和司会員
佐藤 和子会員
佐藤 信雄会員
佐藤 元彦会員
穴戸 宏行会員

鈴木 努会長
丹野 良一会員
芳賀 裕PG
箭内 一典会員
山田 稔会員
渡邊 英世会員



★小銭BOX 5,038円

目標 150万円

本日の投入額 22件 25,000円

累計 313,369円

福島中央ロータリークラブ
2025-26 鈴木 努年度
第1回ゴルフ部会コンペ
2025年9月13日(土) パーシモンCC



第1回ゴルフ部会コンペ開会式



第1回ゴルフ部会コンペ表彰式



優勝 坂本 和司会員
2位 箭内 一典会員
3位 石橋 真一会員

